

春山の山岳遭難防止対策 実施内容

I 目的

登山シーズンの幕開けとなる春山期間（4～6月）を迎えるにあたり、特に登山者が増加し、遭難発生率が高まるゴールデンウィークを中心として、県観光部、地域振興局、県警、県及び地区遭対協や民間事業者等の連携により、効果的な山岳遭難の防止対策に取り組む。

II 実施期間

4月～6月 [集中啓発期間：平成31年4月27日（土）～5月6日（月）（10日間）]

III 対象

登山者（バックカントリースキーを含む）及び山菜採りなどで里山を楽しまれる方

IV 実施内容

【I】啓発活動の展開

1 山際での直接啓発

- ① 主要登山口での啓発活動（23 登山口・登山拠点）※別紙1のとおり【地域振興局・観光部・県警】
県内主要登山口等において、県（観光部、地域振興局）、地区遭対協、県警などが連携し、安全登山と遭難防止の啓発活動（登山計画書届出の呼びかけ、山際啓発ツールの配布）を実施

【山際啓発ツール】 啓発用ティッシュ・ウェットティッシュ、登山安全条例カード

※集中啓発期間 15 登山口・登山拠点

4/27 北アルプス南部（上高地）、北アルプス北部（樽池、猿倉）、四阿山（菅平）、八ヶ岳（美濃戸（予定）、奥蓼科（予定）、白駒の池）、飯縄山（一の鳥居）、南アルプス北部（仙流荘）、御嶽山（御岳ロープウェイ）
4/27～5/6 中央アルプス（千畳敷、キビオ峠、コガラ、上松Aコース）
4/29 中央アルプス（富士見台高原）
5/3 御嶽山（御岳ロープウェイ）

- ② 地区遭対協相談員による相談所の開設（43 箇所）※別紙2のとおり【地区遭対協】
主要登山口等に相談所を開設し、相談員による登山者への直接啓発・指導（登山計画書の提出指導や登山計画の助言、装備の確認、天気や危険箇所等の情報提供など）を実施
（相談所一覧は県のホームページに掲載）

※集中啓発期間 36 箇所

2 全国に対する広報・周知

- ① 島崎三歩「山岳通信」（毎週メール配信）の『特別号』配信（全国265店舗へ 4/19配信予定）【県遭対協】
ゴールデンウィークに合わせて、過去の春山遭難発生状況や春山の注意点などの情報を掲載した「特別号」を配信

⇒配信先：モンベル、ICI 石井スポーツ、好日山荘、カモシカスポーツ、ゴールドウィン
ヤマレコ、コンパス、ヤママップ、ヤマケイオンライン、地区遭対協

- ② 小冊子『春山情報』の配布（4,000部、配布中）【県遭対協・県警】
県内外の山岳関係団体、都市部（東京、愛知、大阪等）の登山用品店等（38店舗）を中心に配付